

ものづくり広報

令和4年度「鈴鹿市ものづくり企業交流会」を開催します

市では、市内中小製造企業が有する優れた技術や製品について、展示を通じて広くPRすることで、企業同士でのマッチングの機会を創出することを目的に、鈴鹿市ものづくり企業交流会を開催します。13回目を迎える今年度も、鈴鹿ハンターを会場とし、「ものづくりのまち 鈴鹿」を企業関係者のみならず一般市民にも広くPRします。

◆日 時 令和5年1月22日（日）10時～16時

◆場 所 鈴鹿ハンターショッピングセンター1階センターコート、サブコート、多目的広場、屋外弁天広場

◆入場料 無料 ◆主 催 鈴鹿市

◆後援 鈴鹿工業高等専門学校、鈴鹿商工会議所、SUZUKA産学官交流会、鈴鹿大学、
鈴鹿医療科学大学、三重県、公益財団法人三重県産業支援センター、
国立大学法人三重大学、三重県教育委員会、鈴鹿少年少女発明クラブ

◆主な内容

○企業展示（10時～16時）

市内中小製造企業15社を中心に、ものづくり産業支援センターの連携機関8つが出展します。

【出展企業】

1：(株)トピア、2：関精密製作所、3：早川印刷(株)、
4：(株)SANKEI、5：林建材(株)、
6：アクティブ鈴鹿、7：昭和プロダクツ(株)鈴鹿事業所、
8：中山水熱工業(株)、9：(株)竹野入工業、10：(株)宮崎石材、
11：鈴鹿回路設計、12：(株)辻プロテック工業、
13：(有)三鈴印刷、14：フヂエンヂニアリング(株)、
15：三田工業(株)

【モノづくり元気企業支援事業補助金から生まれた製品展示】

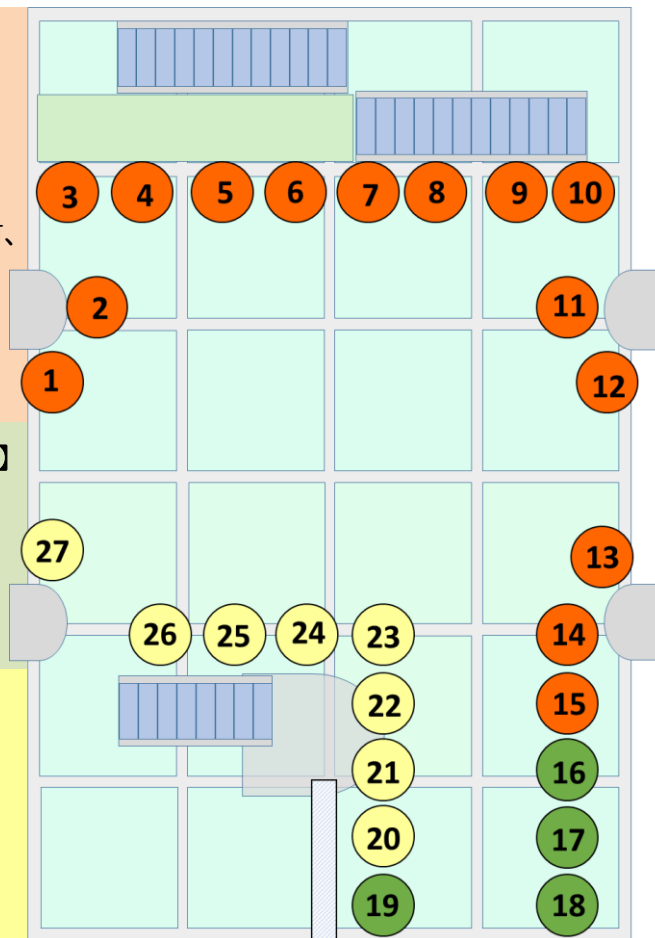
16～17：補助金を活用して製作した製品を展示します。

【ものづくり産業支援センター】

18～19：ものづくり産業支援センターの事業紹介

【連携機関】

20：SUZUKA産学官交流会、21：三重県工業研究所、
22：公益財団法人三重県産業支援センター、
23：三重県産業支援センター 知財総合支援窓口、
24：鈴鹿工業高等専門学校、
25：三重県立四日市工業高等学校、
26：三重県立稲生高等学校、27：国立大学法人三重大学



▲センターコートレイアウト図

○「モノづくり元気企業支援事業補助金から生まれた製品」の展示（１０時～１６時）

鈴鹿市の製造業の活性化を図るため、市内の中小製造業者等が、次世代産業に関して、大学（大学院及び短期大学を含む）や高等専門学校及び研究機関等と共同、またはその指導により行う新商品や新技術の研究開発に要する経費に対して補助金を交付しています。今回は本補助金から生まれた製品を展示します。

企業名	製品内容
フチエంచిニアリング株式会社	電動パーソナルモビリティの展示

○企業自社ＰＲタイム（１３時３０分～１５時）

出展企業１５社及び連携機関８つが１社ずつ自社の紹介やＰＲを行います。

○鈴鹿市ものづくり産業支援センターの事業紹介（１０時～１６時）

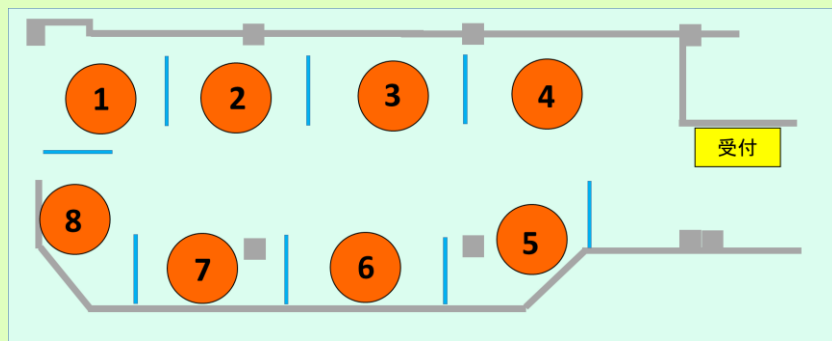
現場支援や人材育成研修など、ものづくり産業支援センターの事業を広く紹介します。

○高校生向け企業紹介（１０時４５分～１２時２５分）

高校生を対象に下記の８社が企業紹介を行います。

▼多目的広場レイアウト図

- １：林建材(株)
- ２：昭和プロダクツ(株)鈴鹿事業所
- ３：(有)三鈴印刷
- ４：(株)トピア
- ５：早川印刷(株)
- ６：三田工業(株)
- ７：(株)辻プロテック工業
- ８：(株)宮崎石材



○体験コーナー（１０時～１６時）

燃料電池自動車

（CLARITY FUEL CELL）の展示



新型コロナウイルス感染防止対策について

来場者へのマスク着用依頼、アルコール消毒液の設置、手洗いや咳エチケットなどの啓発文章を掲示します。

また、来場者多数の場合は入場制限をさせていただく場合もございます。

今後の新型コロナウイルス感染症の動向次第で、企業交流会自体の中止の可能性もございますので、あらかじめご了承ください。

鈴鹿市物価高騰対策ものづくり企業等支援事業を実施しています

コロナ禍において原油価格や電気・ガス料金等の物価高騰の影響を受けた市内ものづくり企業に対し、事業継続に必要なエネルギー関連経費（電気・ガス・石油関係）の一部を緊急支援します。

＜対象＞

令和4年4月から10月までの1か月単位のエネルギー関係経費のうち、いずれか一種類の支払い実績が20万円以上ある、製造業・道路貨物運送業・倉庫業を主に営む中小企業、小規模事業者または個人事業主 ※詳細な内容は鈴鹿市ホームページをご確認ください。

